環境調査　浦ノ内湾26-3
令和8年4月3日
水産試験場

環境調査結果のお知らせ

令和8年4月3日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、３月９日から３月18日まで赤潮（緑色の着色）を形成していたハプト藻とは形が異なり、種類が不明（非常に小さく当場では詳細が確認できないため、国の機関へ分析を依頼中）の植物プランクトンが最高で120 cells/mL確認されました。

現時点で、浦ノ内湾における当該植物プランクトンと漁業被害との因果関係は不明ですが、今回の赤潮に有害種が混在している可能性がありますので、十分注意してください。

また、ヘテロシグマ・アカシオが最高で10 cells/mL確認されました。

調査点（透明度）【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度（m）	水温（℃）	塩分	溶存酸素（mg/L）	ヘテロシグマ・アカシオ	植物プランクトン（種不明）
A 中学校前（4.7m）【09:39】	0	16.0	26.8	9.1	0	50
	2	18.6	32.0	8.4	0	20
	5	18.2	33.1	7.9	0	10
	10	17.1	33.4	7.0	0	20
	底層 12	16.9	33.5	6.2	0	20
B 光松（6.3m）【09:54】	0	16.9	26.6	8.1	10	90
	2	18.5	32.4	7.5	0	10
	5	18.2	33.1	6.9	0	30
	10	17.3	33.5	6.7	0	10
	底層 16	16.8	33.6	5.9	0	0
C 大鹿（5.7m）【10:06】	0	16.6	26.6	8.2	0	120
	2	18.3	32.3	7.4	0	20
	5	18.2	33.1	7.0	0	0
	10	17.4	33.5	6.8	0	0
	底層 16	16.7	33.6	5.8	0	50
D 水試小割前（5.3m）【10:19】	0	16.7	28.2	8.1	0	40
	2	18.5	33.0	7.5	0	60
	5	18.5	33.2	7.0	0	40
	底層 8.5	17.9	33.4	6.6	0	0

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期　※３ 浦ノ内湾
ヘテロシグマ・アカシオ	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	**50,000 cells/mL**	3～12月

※１ 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

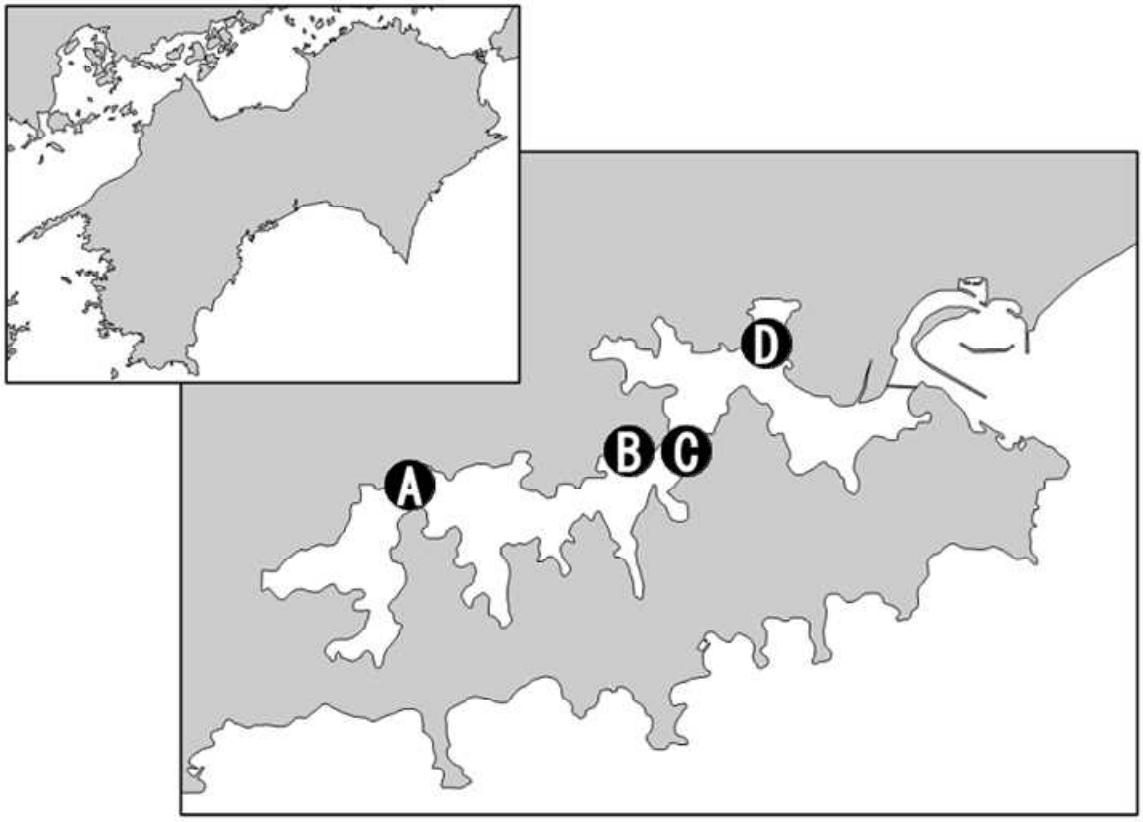
※２ 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※３ あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。

環境調査　浦ノ内湾26-3

令和8年4月3日

水産試験場



A: 中学校前

B: 光松

C: 大鹿

D: 水試小割前

環境調査　浦ノ内湾26-3

令和8年4月3日

水産試験場

ヘテロシグマ・アカシオ

最大細胞密度

植物プランクトン（種不明）

最大細胞密度

凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上　　警戒基準の値以上